

第215号 発行所 沼郡 沼館 中民 沼館 中民 沼館 中民 沼館

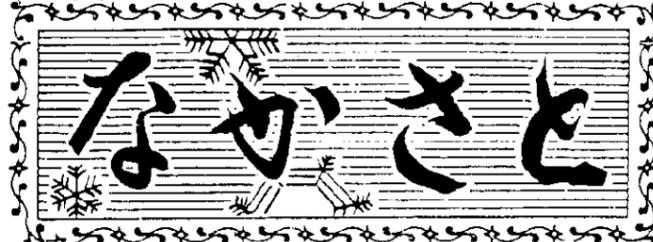
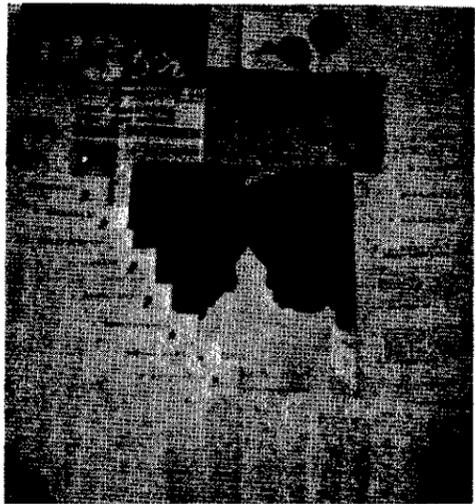


Table with population statistics for June 1st. Columns: 人口 (7,328), 男 (3,611), 女 (3,717), 世帯数 (1,685).

今回の選挙は、われわれの生活にとっても、わが国のこれからの政治の動向にも極めて重要な意味をもつ選挙の機会であり、六月十四日公示され七月七日に投票が行なわれます。

参議院議員通常選挙 七月七日投票日 参議院議員通常選挙 七月七日投票日

家庭教育事業 一、二の三ちゃん!! 新沼郡では、昨年より家庭教育に関する指導並びにアンケート調査を実施してまいりましたが、七月から十月までに十三回対象者に配布します。



あ！捨てないで下さい 近年強く叫ばれている自然、文化財の保護の声の中で、地域の文化、歴史を示す民具等の小道具類の価値が見直されていますが、これ等は、私共が子孫に遺産として贈り残す大切な宝ではないでしょうか。

私達の人権は正しく守られて いるでしょうか 近年、核家族化、少子世帯の傾向が強まり、経験豊かな母親から、新前のお母さんへと育児について教えられることが少なくなりました。

鈴木物豊かなれど心貧し 初夏の街頭は若い女性のミニスカート、ホットパンツの大流行。中国語ではミニスカートのことをミン・チュンという。

部員募集 初夏を迎え、ますます運動に親しみ易い時期となって参りました。五月から開放されました学校体育施設は、多くの人から利用されていますが、体育活動を通じて明るい村づくりを進めてゆくに、あなたも汗を流しながら話合ってみませんか。

日本脳炎予防接種 実施について 日本脳炎は蚊によって伝染する恐ろしい病気で、新潟県では六月から十月にかけて多く発生します。

中里文芸 六月投稿 菊子 山越ゆる深山枯木のまどへかな 顔の花日のたかぶりて山の黙

人生往来 産声 氏名 父の名 部落 南雲 文子 勝雄 芋川 山田 美香 成利 山崎

倉俣老人クラブで 血圧測定 来たる、六月二十四日(月) 倉俣地区老人クラブでは、血圧測定と写真会を実施します。

あ！捨てないで下さい 近年強く叫ばれている自然、文化財の保護の声の中で、地域の文化、歴史を示す民具等の小道具類の価値が見直されていますが、これ等は、私共が子孫に遺産として贈り残す大切な宝ではないでしょうか。

学制沿革

—その2—
小柳 定夫

授業科について明治二十二年田代村長より郡長宛に次のような伺ひ書がある。

授業科徴集額について伺ひ増殖資産ノ利用が案経費充足スルヲ以テ小学校予費規定第四十条ノ授業科、左記の金額ニ減額相定メ徴集仕度。

一金貳圓以上五錢迄

この年十一月になって魚沼郡は第六中学区とされ、更に区内を三小学区とした。

中魚沼地域は、その第一番小学校より第一番小学校に至る十一区轄を占め、本村関係の学校は員野が「第四番小学校」で堀ノ内校はこれに属し、倉俣は「第六小学校、秋成校」に、田代は「第七番小学校、馬場校」そして高道山、角間もこれに属した。

倉俣校は明治八年一月、公立第一番小学校として創設され、六番小学校として創設され、村の中央部、桑原藤次郎氏宅(現主、今朝義、屋角角次郎)の一部を借り受けて開校。倉俣、芋川、芋川新田を通学区とした。又同時に重地校を設けて重地、下山、西万、西田尻、牧畑をこの通学区とした。

開設時の生徒数は高小とも男十六人、女は一人もいなかった。猶田山は通学区不便のため、中深見村田代校に委託とした。

二月、馬場校第三附属校として高道山部落に創設され、通り山、高道山、白羽毛、市ノ越、朴木、沢、高沢、程島、東田房部落を通学区とした。そして明治二十年、中魚沼郡公簡易科高道山小学校となった。簡易科とは修学年限が三年であった。

尚同時に田代村第四百二十四番の乙(神社の前)に公立角間簡易分校を設け、角間、津沢、倉下、土倉部落を通学区とした。そして明治二十二年になって高道山、角間両校とも田代校に附属することになった。

角間校はこの時小角校と改称。十五年十一月、土倉に同校の派出校場をおくことになった。

尚高道山校は十七年に独立。公立小高道山校となり、二十五年角間尋常小学校とその倉下分校場を附属とした。三十四年通り山は田代校の学区に編入となった。その後高道山校は四十二年に白羽毛に新築移転し、東田尻分校場を廢した。

角間校もまた二十四年に独立。角間尋常小学校となった。

又三十二年積雪通学区不便解消のため十一月より翌年三月まで田尻及び市ノ越にそれぞれ雪中派校場を置く事になった。

本校と分校のあり方について県の態度を示したものとて次のものがある。(明治八年)

「区中來往復アルノ地ヲ選シテ一校ヲ置キテ之ヲ区中本校ト稱シ

二月、馬場校第三附属校として高道山部落に創設され、通り山、高道山、白羽毛、市ノ越、朴木、沢、高沢、程島、東田房部落を通学区とした。そして明治二十年、中魚沼郡公簡易科高道山小学校となった。簡易科とは修学年限が三年であった。

尚同時に田代村第四百二十四番の乙(神社の前)に公立角間簡易分校を設け、角間、津沢、倉下、土倉部落を通学区とした。そして明治二十二年になって高道山、角間両校とも田代校に附属することになった。

角間校はこの時小角校と改称。十五年十一月、土倉に同校の派出校場をおくことになった。

尚高道山校は十七年に独立。公立小高道山校となり、二十五年角間尋常小学校とその倉下分校場を附属とした。三十四年通り山は田代校の学区に編入となった。その後高道山校は四十二年に白羽毛に新築移転し、東田尻分校場を廢した。

角間校もまた二十四年に独立。角間尋常小学校となった。

又三十二年積雪通学区不便解消のため十一月より翌年三月まで田尻及び市ノ越にそれぞれ雪中派校場を置く事になった。

本校と分校のあり方について県の態度を示したものとて次のものがある。(明治八年)

「区中來往復アルノ地ヲ選シテ一校ヲ置キテ之ヲ区中本校ト稱シ

六年になつて多くの校舎を建設した。明治二十年四月学制の改革があり、小学校の年限を尋常、高等の二段階とし、最初の四ヶ年を義務教育年限とし、父母後見人等はその間に尋常小学校を卒業させる義務があるものとし、義務教育年限を四年間にした代りに、就学できない場合は猶予を許すことにした。又小学校の設置区域、位置は府知事、県令の定めるところで区や町、村をそれぞれ一学区とし、校数は一校及び二校、二校の時は一校を簡易科小学校とし、それ以外は尋常小学校とした。郡に一校及び二校に限った。この外に二年以内の小学簡易科を設けさせて、尋常小学校に代用してよいことにした。但しその経費は区、町村費からの支出とし、教員の給料は地方税で八十%を補助するといふものであった。

尋常小学校及び高等小学校には希望によって過剰科を設置してよい。その修業年限は各六ヶ月ないし一年とする。補習卒業後在学中に卒業を自主的に復習する制度として尋常小学校は父母、後見人等からの授業料と寄附金で維持し、不足の場合学区町村費から補助し、高等小学校は郡費で補助することになった。

尚小学校の学科とその程度は文部大臣が定める事になっており、教科書は文部大臣の検定したものに限ることとした。

又学年は毎年四月一日に始まり翌年三月三十一日に終ると定め従来より進級制は一進級制となった。

明治二十五年(一八九二)二十三年に改正された小学校令はこの年四月から全面的に施行された。

その大要は

一、小学校を尋常小学校と高等小学校の二つにし、同一校に併置しても良い。

二、修業年限を尋常小学校は三年及び四年とする。(従って二年以上の簡易科小学校はなくなり、高等小学校は二年ないし四年とする。又卒業生のために尋常小学校では補習科を、高等小学校では専修科又は補習科をおく三、学令は満六才から満十四才に至る八ヶ年とし、就学義務は児童の学令に達した年の学年から生ずる。

小学校の休業日は日曜日を除いて毎年九月十一日を超えてはならないなどである。

三十四年田代村において、三ヶ月算給金、三十四年度の角間小学校経営教育費を全部否決

この機会に自分の健康は自分で確かめよう。

七月月上旬に婦人会を通じて申し込みをとりまします。

検査日 七月二十六日

会場 田代小学校の予定

検査費 一人百円

保健課

校名	校種	学年	児童数	教員数	男女
高道山尋常	尋常	四	三三	一	三三
角間尋常	尋常	四	三三	一	三三
津沢尋常	尋常	四	三三	一	三三
倉下尋常	尋常	四	三三	一	三三
土倉尋常	尋常	四	三三	一	三三
田代尋常	尋常	四	三三	一	三三
堀ノ内尋常	尋常	四	三三	一	三三
馬場尋常	尋常	四	三三	一	三三
秋成尋常	尋常	四	三三	一	三三
田代尋常	尋常	四	三三	一	三三
高道山尋常	尋常	四	三三	一	三三
角間尋常	尋常	四	三三	一	三三
津沢尋常	尋常	四	三三	一	三三
倉下尋常	尋常	四	三三	一	三三
土倉尋常	尋常	四	三三	一	三三
田代尋常	尋常	四	三三	一	三三
堀ノ内尋常	尋常	四	三三	一	三三
馬場尋常	尋常	四	三三	一	三三
秋成尋常	尋常	四	三三	一	三三
田代尋常	尋常	四	三三	一	三三
高道山尋常	尋常	四	三三	一	三三
角間尋常	尋常	四	三三	一	三三
津沢尋常	尋常	四	三三	一	三三
倉下尋常	尋常	四	三三	一	三三
土倉尋常	尋常	四	三三	一	三三
田代尋常	尋常	四	三三	一	三三
堀ノ内尋常	尋常	四	三三	一	三三
馬場尋常	尋常	四	三三	一	三三
秋成尋常	尋常	四	三三	一	三三
田代尋常	尋常	四	三三	一	三三
高道山尋常	尋常	四	三三	一	三三
角間尋常	尋常	四	三三	一	三三
津沢尋常	尋常	四	三三	一	三三
倉下尋常	尋常	四	三三	一	三三
土倉尋常	尋常	四	三三	一	三三
田代尋常	尋常	四	三三	一	三三
堀ノ内尋常	尋常	四	三三	一	三三
馬場尋常	尋常	四	三三	一	三三
秋成尋常	尋常	四	三三	一	三三
田代尋常	尋常	四	三三	一	三三
高道山尋常	尋常	四	三三	一	三三
角間尋常	尋常	四	三三	一	三三
津沢尋常	尋常	四	三三	一	三三
倉下尋常	尋常	四	三三	一	三三
土倉尋常	尋常	四	三三	一	三三
田代尋常	尋常	四	三三	一	三三
堀ノ内尋常	尋常	四	三三	一	三三
馬場尋常	尋常	四	三三	一	三三
秋成尋常	尋常	四	三三	一	三三
田代尋常	尋常	四	三三	一	三三
高道山尋常	尋常	四	三三	一	三三
角間尋常	尋常	四	三三	一	三三
津沢尋常	尋常	四	三三	一	三三
倉下尋常	尋常	四	三三	一	三三
土倉尋常	尋常	四	三三	一	三三
田代尋常	尋常	四	三三	一	三三
堀ノ内尋常	尋常	四	三三	一	三三
馬場尋常	尋常	四	三三	一	三三
秋成尋常	尋常	四	三三	一	三三
田代尋常	尋常	四	三三	一	三三
高道山尋常	尋常	四	三三	一	三三
角間尋常	尋常	四	三三	一	三三
津沢尋常	尋常	四	三三	一	三三
倉下尋常	尋常	四	三三	一	三三
土倉尋常	尋常	四	三三	一	三三
田代尋常	尋常	四	三三	一	三三
堀ノ内尋常	尋常	四	三三	一	三三
馬場尋常	尋常	四	三三	一	三三
秋成尋常	尋常	四	三三	一	三三
田代尋常	尋常	四	三三	一	三三
高道山尋常	尋常	四	三三	一	三三
角間尋常	尋常	四	三三	一	三三
津沢尋常	尋常	四	三三	一	三三
倉下尋常	尋常	四	三三	一	三三
土倉尋常	尋常	四	三三	一	三三
田代尋常	尋常	四	三三	一	三三
堀ノ内尋常	尋常	四	三三	一	三三
馬場尋常	尋常	四	三三	一	三三
秋成尋常	尋常	四	三三	一	三三
田代尋常	尋常	四	三三	一	三三
高道山尋常	尋常	四	三三	一	三三
角間尋常	尋常	四	三三	一	三三
津沢尋常	尋常	四	三三	一	三三
倉下尋常	尋常	四	三三	一	三三
土倉尋常	尋常	四	三三	一	三三
田代尋常	尋常	四	三三	一	三三
堀ノ内尋常	尋常	四	三三	一	三三
馬場尋常	尋常	四	三三	一	三三
秋成尋常	尋常	四	三三	一	三三
田代尋常	尋常	四	三三	一	三三
高道山尋常	尋常	四	三三	一	三三
角間尋常	尋常	四	三三	一	三三
津沢尋常	尋常	四	三三	一	三三
倉下尋常	尋常	四	三三	一	三三
土倉尋常	尋常	四	三三	一	三三
田代尋常	尋常	四	三三	一	三三
堀ノ内尋常	尋常	四	三三	一	三三
馬場尋常	尋常	四	三三	一	三三
秋成尋常	尋常	四	三三	一	三三
田代尋常	尋常	四	三三	一	三三
高道山尋常	尋常	四	三三	一	三三
角間尋常	尋常	四	三三	一	三三
津沢尋常	尋常	四	三三	一	三三
倉下尋常	尋常	四	三三	一	三三
土倉尋常	尋常	四	三三	一	三三
田代尋常	尋常	四	三三	一	三三
堀ノ内尋常	尋常	四	三三	一	三三
馬場尋常	尋常	四	三三	一	三三
秋成尋常	尋常	四	三三	一	三三
田代尋常	尋常	四	三三	一	三三
高道山尋常	尋常	四	三三	一	三三
角間尋常	尋常	四	三三	一	三三
津沢尋常	尋常	四	三三	一	三三
倉下尋常	尋常	四	三三	一	三三
土倉尋常	尋常	四	三三	一	三三
田代尋常	尋常	四	三三	一	三三
堀ノ内尋常	尋常	四	三三	一	三三
馬場尋常	尋常	四	三三	一	三三
秋成尋常	尋常	四	三三	一	三三
田代尋常	尋常	四	三三	一	三三
高道山尋常	尋常	四	三三	一	三三
角間尋常	尋常	四	三三	一	三三
津沢尋常	尋常	四	三三	一	三三
倉下尋常	尋常	四	三三	一	三三
土倉尋常	尋常	四	三三	一	三三
田代尋常	尋常	四	三三	一	三三
堀ノ内尋常	尋常	四	三三	一	三三
馬場尋常	尋常	四	三三	一	三三
秋成尋常	尋常	四	三三	一	三三
田代尋常	尋常	四	三三	一	三三
高道山尋常	尋常	四	三三	一	三三
角間尋常	尋常	四	三三	一	三三
津沢尋常	尋常	四	三三	一	三三
倉下尋常	尋常	四	三三	一	三三
土倉尋常	尋常	四	三三	一	三三
田代尋常	尋常	四	三三	一	三三
堀ノ内尋常	尋常	四	三三	一	三三
馬場尋常	尋常	四	三三	一	三三
秋成尋常	尋常	四	三三	一	三三
田代尋常	尋常	四	三三	一	三三
高道山尋常	尋常	四	三三	一	三三
角間尋常	尋常	四	三三	一	三三
津沢尋常	尋常	四	三三	一	三三
倉下尋常	尋常	四	三三	一	三三
土倉尋常	尋常	四	三三	一	三三
田代尋常	尋常	四	三三	一	三三
堀ノ内尋常	尋常	四	三三	一	三三
馬場尋常	尋常	四	三三	一	三三
秋成尋常	尋常	四	三三	一	三三
田代尋常	尋常	四	三三	一	三三
高道山尋常	尋常	四	三三	一	三三
角間尋常	尋常	四	三三	一	三三
津沢尋常	尋常	四	三三	一	三三
倉下尋常	尋常	四	三三	一	三三
土倉尋常	尋常	四	三三	一	三三
田代尋常	尋常	四	三三	一	三三
堀ノ内尋常	尋常	四	三三	一	三三
馬場尋常	尋常	四	三三	一	三三
秋成尋常	尋常	四	三三	一	三三
田代尋常	尋常	四	三三	一	三三
高道山尋常	尋常	四	三三	一	三三
角間尋常	尋常	四	三三	一	三三
津沢尋常	尋常	四	三三	一	三三
倉下尋常	尋常	四	三三	一	三三
土倉尋常	尋常	四	三三	一	三三
田代尋常	尋常	四	三三	一	三三
堀ノ内尋常	尋常	四	三三	一	三三
馬場尋常	尋常	四	三三	一	三三
秋成尋常	尋常	四	三三	一	三三
田代尋常	尋常	四	三三	一	三三
高道山尋常	尋常	四	三三	一	三三
角間尋常	尋常	四	三三	一	三三
津沢尋常	尋常	四	三三	一	三三
倉下尋常	尋常	四	三三	一	三三
土倉尋常	尋常	四	三三	一	三三
田代尋常	尋常	四	三三	一	三三
堀ノ内尋常	尋常	四	三三	一	三三
馬場尋常	尋常	四	三三	一	三三
秋成尋常	尋常	四	三三	一	三三
田代尋常	尋常	四	三三	一	三三
高道山尋常	尋常	四	三三	一	三三
角間尋常	尋常	四	三三	一	三三
津沢尋常	尋常	四	三三	一	三三
倉下尋常	尋常	四	三三	一	三三
土倉尋常					